

(参考様式1-1)

農山漁村発イノベーション等整備事業(定住促進対策型、交流対策型)事業実施計画

計画主体名	計画期間
ひょうごけん・さようちょう 兵庫県・佐用町	令和5年度～令和7年度

<連絡先>

担当課	電話番号	FAX番号	メールアドレス
農林振興課	0790-82-0667	0790-82-0017	norinshinko@town.savo.lg.jp

I 事業活用活性化計画目標

事業活用活性化計画目標	事業活用活性化計画目標の設定根拠
山村活性化の促進	佐用町は、少子高齢化、小学校の廃校などにより、人口減少への歯止め、賑わいの創出が地域の課題となっている。 一方で、農村の豊かな景観や、自然、農林水産物を生かした活性化策を検討している。 このたび、老朽化している直売所・加工施設の大規模改修、新設整備事業に取り組み、より魅力的な直売所とすることにより、農産物の振興・農家の支援、都市住民との交流人口増を目指すものである。

II 評価指標

第1評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
地域産物の販売額の増加	+158,796千円/年間	販売額の増加158,796千円=(目標値:R8・9・10年度の平均304,588千円)-(現状値:R1・2・3年度の平均145,792千円)
第1評価指標の設定根拠		
直売所・加工施設を指定管理で運営している(株)元気工房さよらの、販売額を増加させる。 目標値:304,588千円-現状値:145,792千円=増加額:158,796千円 現状値(R1・2・3年度平均):145,792千円(農産物と加工品の販売額 令和元年度の三日月の販売割合が48%のため、 (農産物61,267+加工品53,751)×0.48=55,209 レストラン18,583 みそ72,000 合計145,792) 目標値(R8・9・10年度平均):304,588千円(農産物と加工品の販売額は、三日月が拠点施設となるため、割合を48%から68%に引き上げ設定する。 農産物販売額 88,800×0.68=60,384 レストラン43,000 加工品75,300×0.68=51,204 みそ150,000 合計304,588)		
兵庫県・佐用町		具体的数値目標の算出方法
交流人口の増加	+19,544人/年間	佐用町人口ビジョン・総合戦略による
第2評価指標の設定根拠		
現状値(R1・2・3年度平均):56,777人(R1:60,818人 R2:54,674人 R3:54,838人) 目標値(R8・9・10年度平均):76,321人(R8:76,321人 R9:76,321人 R10:76,321人)		
第3評価指標(必須)	具体的数値目標	具体的数値目標の算出方法
新商品の開発	1商品/年間	目標値-現状値=1商品
第3評価指標の設定根拠		
直売所・加工施設を指定管理で運営している(株)元気工房さようでの新商品開発数。 現状値(R1・2・3年度平均):1商品(R1:1商品 R2:1商品 R3:1商品) 目標値(R8・9・10年度平均):2商品(プレミアム味噌、もち大豆御膳等)		

評価期間(原則として3年間の効果発現状況を把握する期間)	評価報告予定年(評価期間の終了直後の9月末日まで)
令和8年4月～令和11年3月	令和11年

Ⅲ 温室効果ガス排出量の削減目標

温室効果ガス排出量削減目標	温室効果ガス排出量削減目標の設定根拠

【記入要領】

- 全般 ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- 事業活用活性化計画目標 ・事業活用活性化計画目標の項目は実施要領別記3の別紙に掲げる項目から選択するものとする。
- 評価指標 ・評価指標の記載に当たっては実施要領別記3及び「事業活用活性化計画目標の評価指標の設定について」により記入すること。
- 温室効果ガス排出量削減目標・発電施設の整備を実施する場合に記載
- ※実施要領別記3の第4の3の(1)のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、I 及びII は記載不要。

IV 活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標と交付対象事業の関連性

事業メニュー名	地区名	事業内容	事業規模等	実施期間	事業実施主体	全体事業費 (千円)	交付金要望額 (千円)	交付額 算定交付率	交付限度額 (千円)	活性化計画の目標及び 事業活用活性化計画目標との関連性	備考
⑯地域連携販売力 強化施設	佐用地区	既存建屋をレスト ラン・直売所へ改 修(三日月)	建屋面積680㎡ (うち、一般食堂98 ㎡・そば処106㎡・ 直売所240㎡等々)	R5年度	佐用町	327,734	98,600	1/2	98,600	レストランは、そば処と一般食堂と、雰囲気の異なる2施設 を整備する。直売所は売り場面積を約2倍にし、販売額の増 加を目指す。	
⑰農林水産物処理 加工施設	佐用地区	みそ加工所の新築	みそ加工所900㎡	R6年度	佐用町	625,553	301,400	1/2	301,400	地理的表示保護制度GIに登録された「佐用もち大豆」を 使ったみそは、手作りの風味が好評で、コロナ禍でも堅調な 売上である。みそ専用の加工所を新築し、年間90tの生産量 を、新加工所では年間150tまで増強する。	
合 計						953,287	400,000		400,000		

兵庫県・佐用町

【記入要領】

- ・必要であれば適宜欄の拡大、行の追加をすること。
- ・創意工夫発揮事業である場合は、事業内容欄に一体として行う事業メニュー名及び一体的に行う必要性を併せて記載すること。
- ・事業メニュー名欄には、実施要領別記3の別表2の事業メニュー名を記入すること。
- ・地区名欄には、事業の実施地区名を記入すること。
- ・事業内容欄は、整備しようとする具体的な施設の内容を記載すること。
- ・事業規模等欄は、施設ごとの棟数と床面積、林道や森林管理道等の場合は地区名と延長など、それぞれの事業内容に応じた事業規模を記載すること。
- ・活性化計画の目標及び事業活用活性化計画目標との関連性欄は、これら目標を達成する上で、各々の事業の実施が必要な理由を記載すること。なお、別表2の(3)の⑬自然・資源活用施設の単独整備を実施する場合は記載不要。
- ・「農泊」の取組を実施する場合には、備考の欄にどのように「農泊」と関連するかを明記すること。

(※)「農泊」とは、農山漁村において、日本ならではの伝統的な生活体験や農山漁村地域の人々との交流を楽しむ滞在(農山漁村滞在型旅行)をいう。

VI 農山漁村発イノベーション等整備事業(定住促進対策型、交流対策型)年度別事業実施計画

	計画の提出年度	新規・変更の区別 新規「1」 変更「2」	都道府県	計画主体	市町村名	地区名	地域指定状況								計画期間 最終年度			
			名称	名称			山村振興	過疎地域	特定農山村	半島振興	離島振興	豪雪地帯	急傾斜地	奄美群島		指定棚田地域		
事業別内容 兵庫県・佐用町	R4	1	兵庫県	佐用町	佐用町	佐用地区	1	1	1									
	R4	1	兵庫県	佐用町	佐用町	佐用地区	1	1	1									
①事業費計																		
②市町村等附帯事務費																		
③県附帯事務費																		
総合計(①+②+③)																		
共同で計画作成を行う場合の内訳																		
〇〇町	事業費(ハード)																	
	市町村等附帯事務費																	
××県	事業費(ハード)																	
	都道府県附帯事務費																	
	市町村等附帯事務費																	

【記入要領】

・実施要領別記3の第4の3の(1)のイに記載の発電施設の単独設置を実施する場合、計画の提出年度欄には、発電施設等を附帯する活性化施設の整備を実施する際に作成した活性化計画の提出年度を記載すること。

